

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
福島市中心市街地地区

平成28年3月

福島県福島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	歩行者・自転車通行量	人/日	33,276	36,100	34,918	確定 見込み ●	△	あり ●	なし ●	34,523	H27年7月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災などの影響を受けながらも通行量は基準値より増加したが、震災が来街者の回遊性に影響を及ぼしている。
指標2	中心市街地地区人口	人	15,417	15,550	14,700	確定 見込み ●	×	あり ●	なし ●	14,694	H27年5月	×	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災の影響により、市全体の人口流出が続いている。
指標3						確定 見込み		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	集客拠点づくりと回遊環境の向上	・福島駅西口広場を再整備による利用環境の向上	福島駅西口駅前広場の再整備や都市計画道路、信夫山公園などの整備により、福島駅南北の賑わいを創出した。	南北の回遊軸が形成できたので、新たに福島駅から東西方向に延びる回遊ルートを形成し、南北軸の賑わいを東西軸へ拡大することで、都市機能を誘導し、まちの活力の維持・増進や、持続可能な都市構造の再構築を積極的に図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	人が暮らし交流できる生活環境の向上	・高齢者賃貸住宅の建設等	東日本大震災等の影響により事業スケジュールの見直しを余儀なくされた民間事業者もあり、快適居住の受け皿となる事業の進捗に支障をきたし、目標値を達成できなかった。	都心居住に伴う施設整備及び支援制度の確立し、それを支える生活関連施設、都心の復興・再生を図る医療・福祉施設の充実を図る。 また、市民のコミュニケーションの場となる文化・交流施設等の充実を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
区域を一部変更し、都市再生整備計画第2期であらたな街づくりに取り組む	・福島駅前通りリニューアル事業 ・大原総合病院の移転新築 ・高齢者に対する居住環境の向上 ・都市計画道路腰浜町・町庭坂線道路整備事業	H27～H31	県都の顔ともなる福島駅前通りリニューアル整備事業によりイメージを刷新し中心市街地の魅力と快適性の向上を図る。 また、第2期計画事業での拠点施設等の整備により、1期計画で創出した南北の回遊性を東西軸に波及させ、中心市街地全体の回遊性の向上につなげられるかが課題である。